

ほっこり ウィークリー (毎週金曜日発行)

92号
2022
4.15

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

～ 春の開園時間延長！ ～

4月11日(月)から5月15日(日)まで

午後6時30分まで開園しています！(入園は午後6時まで)



← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました！見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました！動画で園内の様子を紹介しています。 →



第10回 サトザクラ展

- 期間：4月15日(金)～4月17日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：園内にあるサトザクラを中心とした切り枝を展示
サクラ文化の紹介

第17回 桜散歩

- 日時：4月15日(金)～4月17日(日) 13:00～
- 場所：植物園会館前集合 ※定員：先着30名
- 内容：園内のサクラを職員が案内 ※1時間程度
※16日(土)は「土曜ミニミニガイド」を兼ねています。

バラ栽培講習会

- 4月16日(土) 13:00～15:00 (受付12:30～)
- 「春バラの手入れ」植物園会館2階研修室
- ※講師：日本ばら会京都部会会員
- ※参加費：200円(別途入園料が必要)
- ※定員：当日先着60名

第29回 フクシア展

- 期間：4月22日(金)～5月8日(日)
- 場所：観覧温室(ジャングル室)
- 内容：フクシア約150品種200鉢を展示

第59回 山草野草展

- 期間：4月29日(金祝)～5月5日(木祝)
- 場所：植物展示場
- 内容：山草、野草類約500点を展示(販売あり)

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内！

毎週水曜日は・・・
植物園会館前集合：午後1時スタート！

「園長と園内散歩」

4月17日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！
植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！
「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

私の好きな木20周年記念展

- 期間：4月22日(金)～4月24日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：私の好きな木20周年を記念してこれまでの取り組みなどを総括した展示

◆4/24(日)私の好きな木20周年記念展 関連講演

- 植物園会館2階多目的室 13:30～15:00 (受付13:00～)
- 内容：未定
- 講師：松谷茂名誉園長
- ※定員：当日先着60名

第41回 エビネ展

- 期間：4月29日(金祝)～5月3日(火祝)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：エビネ類約200点を展示(販売あり)

◆4/29(金祝)エビネ展 関連講習会

- 植物園会館2階多目的室 13:30～15:00 (受付13:00～)
- 内容：未定
- 講師：京都エビネ会会員
- ※定員：当日先着60名

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合：午後1時スタート！



「植物園ガイド」が植物案内！

- ～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～
- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)
- * 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141



※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」
2022. 4. 15
92号

⑫ サイコトリア・ペピギアナ

アカネ科。中南米原産。開花期に唇のような形をした苞(ほう)が赤く色づき、花粉を運ぶハチドリなどを引きつける。開花すると口紅を塗った唇が小さな花をくわえているように見え、その姿が別名「ホット・リップス(熱い唇)」のゆえん。

⑪ オドリコソウ

シソ科。北海道から九州などに分布。漢字では「踊子草」と書き、花が輪生したようすが、笠をかぶって踊る踊子に似ていることが和名の由来。花の色は白から赤みの強いものまでいろいろあり、春の野原を白やピンク色に彩る。

⑩ メディニラ・マグニフィカ

ノボタン科。フィリピン原産。茎の先端やその付近の葉腋から長い花茎を下げ、長さ10cmほどの淡紅色の美しい苞をつける。その先にコーラルピンクの小花を多数つけ、長期間咲き続ける。別名はオオバヤドリノボタン(大葉宿野牡丹)。

⑨ スノーフレーク

ヒガンバナ科。オーストリアやハンガリーなどヨーロッパ中南部原産。まだ寒さが残る早春から開花する姿はまるで残雪のようで、名前の「スノーフレーク(雪片)」はそれをよく表している。花と葉の外観から「スズランズイセン」の別名もある。

① ハナズオウ

マメ科。中国、朝鮮に分布。花の色が、スオウの木から採った染料に似ていることからその名が付いた。葉より先に小さな花を枝一面に密集して咲かせ、花が終わったあとにハート型のかわいらしい葉が芽吹く。

② ハナナ

アブラナ科。ヨーロッパ原産。江戸時代から採油目的で栽培されてきたアブラナに対し、ハナナは切り花や蕾を野菜として利用することを目的に栽培されてきた。切り花用は分枝が少ないが、食用は多く分枝するよう改良されている。

③ クリスマスローズ

キンポウゲ科。地中海沿岸に分布。欧米では冬咲きのヘレボルス・ニゲルのみを「クリスマスローズ」、春咲きのオリエンタリスを「レンテンローズ」と呼ぶが、日本では全てのヘレボルス属と園芸品種を総称して「クリスマスローズ」と呼んでいる。

④ ナルキッスス・ブルボコディウム

ヒガンバナ科。フランス南西部、ポルトガル、スペインなどに分布。小型原種スイセンの代表的な種類。早春に花冠の広がった黄色いペチコートのような花が1茎に1花咲く。その外観から「ペチコートスイセン」とも呼ばれている。

⑤ シバザクラ

ハナシノブ科。北アメリカ東部原産。和名は花の形や色がサクラに、草姿、葉形がシバに似ることから付けられた。属名のフロックスはギリシャ語で「炎」を意味し、赤色の花に由来する。性質は強健で乾燥、寒さにも強い。

⑥ ラショウモンカズラ

シソ科。本州、四国、九州などに分布。和名の由来は、大きくふっくらとした花の感じを、羅生門で渡辺綱が切り落とした鬼女の腕に見立てたものとされる。花冠の長さは4~5cmであり、シソ科の植物としては大きな花であり、よく目立つ。

⑧ ショカツサイ

アブラナ科。中国原産。三国志で有名な諸葛亮孔明(しょうかつりょうこうめい)が兵士の食料とするため本種を栽培し、広めたことが名前の由来とされる。花の色などから「ムラサキハナナ」の別名でも知られている。繁殖力が非常に強い。

⑦ ツンベルギア・マイソレンシス

キツネノマゴ科。インド南部原産。大型つる性植物で原産地では10m以上伸びる。属名のツンベルギアは「日本植物誌」で知られるスウェーデンの植物学者の名に、種小名のマイソレンシスは、原産地であるインド南部の都市名に因む。

